

221125_ドローン物流実証実験実施報告（JANUSプレスリリース文案）

2022年11月25日 9:33

タイトル：

今治市におけるドローン物流実証実験結果（ご報告）

本文：

日本エヌ・ユー・エス株式会社（本社所在地 東京都）及びライセン株式会社（本社所在地 愛媛県松山市）は、愛媛県今治市の波方地区と大三島地区（島しょ部）をドローンで結ぶ物流の実証実験を実施しました。

本実験は、災害時や緊急時における島しょ部の脆弱性を低減させるため、道路状況に関わらず配送が可能なドローンによる新規航路の開発に向けた技術検証を目的としています。実験は国家戦略特区の指定を受け、近未来技術実証ワンストップセンターを設置している今治市の後援により行われました。

■実験概要・結果

実験は、比較的気象条件が良好であった10月26日及び11月4日に実施しました。実験日にごとに実験条件（ドローンの飛行速度・経路・運転条件等）を変更し、異なる条件下での飛行を試験しました。

実験条件等

実験日 2022年10月26日、11月4日

使用したドローン MDS-6pro-WW

運送品 抗原検査キット20本を想定（実際には約1kgの重りを運送）

運行オペレーション 発地点と着地点の2名体制

10月26日の設定条件 飛行速度 秒速9m、飛行距離 往復12km、補助者ありの目視外飛行（Level2） ※補助者ありのため、実験中はドローンを船で追走

11月4日の設定条件 飛行速度 秒速8m、飛行距離 往復16km、補助者なしの目視外飛行（Level3）

飛行航路



図 ドローンの飛行航路

実験結果

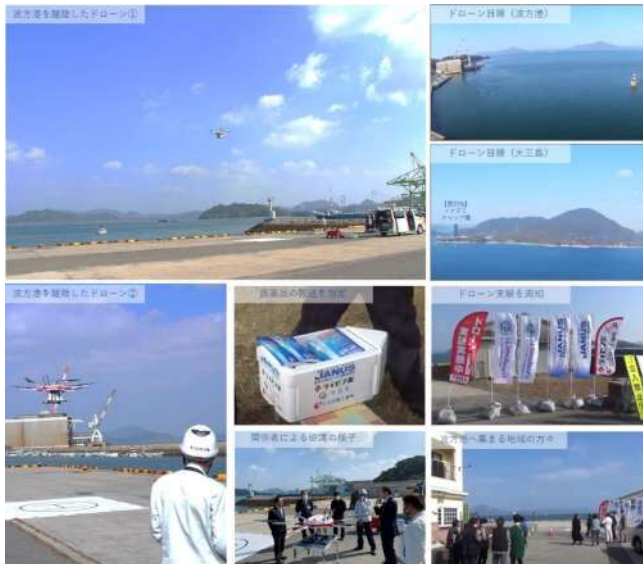
10月26日の結果

大角海浜公園を離陸したドローンは、約15分でイナズミキャンプ場へ着陸。荷物を降ろしたドローンは再び離陸し、約15分で大角海浜公園へ着陸。

11月4日の結果

波方港を離陸したドローンは、約20分でイナズミキャンプ場へ着陸。荷物を降ろしたドローンは再び離陸し、約20分で大角海浜公園へ着陸。前述の飛行を同日中に同一機体を用い、2回実施。





実験に用いた長距離運搬対応ドローンについて

本実験に用いたドローン（独自改良）は、ペイロード1kg時において、GPS搭載の最大飛行距離50km・最大時速50kmの飛行能力を有しています。本機は、現在許可されている最大出力の1Wの電力で、169MHzの電波を用いて操縦します。四国地方において、本周波数を操縦用に用いるドローンは、本機のみです（2022年9月時点）。

【共同事業】

日本エヌ・ユー・エス株式会社（本社所在地 東京都）

ライセン株式会社（本社所在地 松山市）

【後援】愛媛県今治市

【協力】

株式会社わか（WAKKA）（本社所在地 愛媛県今治市）

遊船やすまる（本社所在地 今治市）

■本件に関する問合せ

日本エヌ・ユー・エス株式会社 環境事業本部

地球環境管理ユニット 石澤・福井

連絡先 ishizawa-syk@janus.co.jp